

連絡先：自動車交通局技術安全部審査課リコール対策室

TEL：03-5253-8111 内線42353

アドレス：<http://www.mlit.go.jp>

リコール届出一覧表

リコール届出日：平成19年4月12日

リコール届出番号	1858	リコール開始日	平成19年4月13日
届出者の氏名又は名称	ヤマハ発動機株式会社 代表取締役社長 梶川 隆 問い合わせ先：お客様相談室 0120-090-819		
不具合の部位（部品名）	原動機（コネクティングロッドベアリング）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	原動機の冷却性能が高すぎるため、原動機が暖まりにくいことから、エンジンから発生するブローバイガス中の水分が結露して、エンジンオイルに多量の水分が混入する。そのため、エンジンオイル中の添加物が加水分解し、硫黄イオンが発生して、原動機のコネクティングロッド大端部のベアリングの銅メッキが剥離するため、当該ベアリングが早期に摩耗し、ベアリングが破損して異音が発生することがあり、最悪の場合、エンジンが停止して再始動できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、対策品のコネクティングロッドベアリングが組み込まれたエンジンと交換する。なお、対策品の供給に時間を要することから、当面の暫定措置として、エンジンオイルをメッキ剥離の進行を抑える専用のエンジンオイルと交換し、後日対策品のエンジンと交換する。		
不具合件数	105件	事故の有無	物損1件
発見の動機	販売会社からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者：ダイレクトメールで通知する。 ・自動車分解整備業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、車わく（車台番号打刻位置付近）にNo. 1858のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ヤマハ	BA-SG15J	グラントマジェスティ YP250G	SG15J-000034～SG15J-013909 平成16年2月6日～平成17年12月9日	13,870台	
	(計1型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成16年2月6日～平成17年12月9日	(計13,870台)	

【注意事項】

リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。